

建設委員会

ニュース

第01号

発行日
2016年
12月1日

泉州ブロック施設建設スタート

一日も早くなかま・ろうあ者が安心してつどえる施設の建設を！

2015年4月に北摂聴覚障害者センター「ほくほく」がオープンして1年半あまり。大阪の5ブロックに聴覚障害者のための施設をつくる運動は、いよいよ次の建設地を泉州ブロックと決め、具体的な運動を進めることになりました。

2016年11月5日（土）谷町福祉センター2階で午後6時少し過ぎから、泉州ブロックに新しい施設を作るための第1回施設建設委員会が開催されました。

この会議は大阪聴覚障害者福祉会後援会の呼びかけで、公益社団法人大阪聴覚障害者協会、社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会を中心に、大阪手話通訳問題研究会、大阪手話サークル連絡会、なかま



2016.11.5資料

1. 泉州聴覚障害者センター（仮）建設に向けてのタイム・スケジュール

2016年 6月19日	後援会総会で「後援会内に施設建設委員会の設置」を議決
9月25日	泉州三団体十法人十後援会
11月5日	第1回施設建設委員会
12月	実態調査期間
1月	
2月	実態調査回答まとめ
3月	
4月	ブロック総会
5月	
6月	法人後援会総会総会（構想と募金を提案）
10月	建設募金スタート
2018年 4月	（全国ろうあ者大会 大阪主管6/8～11）
6月	
2019年 4月	泉州聴覚障害者センターオープン

の里「さとの会」、泉州ブロック3団体を中心とした5ブロック代表、大阪府立中央聴覚支援学校職員組合など約40名が出席して開かれました。
会議は大聴協磯野孝副会長の司会で進行し、冒頭、法人後援会会長清田廣氏から、北摂ブロックの「ほくほく」建設に続き、泉州ブロックでも新しい施設を建設する目的や意義についての説明を兼ねた挨拶がありました。
清田会長は挨拶で、
①なかまの里のなかまの新しい拠点作り

②ブロック会員の憩いの場をつくり、ブロック活動の拠点にする。

③新しい施設づくりの運動の中で会員減少が続いている大聴協の復活をはかりたい。

三つの面から語られました。

この後、法人専務理事の佐藤修氏より新しい施設「泉州聴覚障害者センター（仮称）」の構想について報告がありました。説明によると、開所は2019年4月1日

を予定しており、利用者はなかまの里から30名、グループホーム「やすらぎ」から10名、泉州地区の聴覚障害者20名の合計60名の利用者で運営される規模の大きなものになる予定です。（報告詳細は裏面参照）

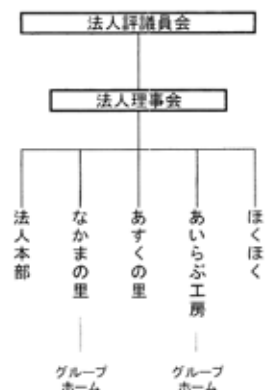
次に、法人後援会の中村克己事務局長から新しい施設づくりを進めるに当たっての今日までの経過と、施設オープンまでのタイム・スケジュール（上図参照）、これからの体制について、説明がおこなわれました。

運動を進める組織形態は、北摂施設建設の時と違い、法人後援会の組織の中に「施設建設委員会」をつくり、その下に事務局、その下に「施設整備室」「実態調査プロジェクトチーム」「施設建設運動」の三つの担当を設けます。（下図参照）

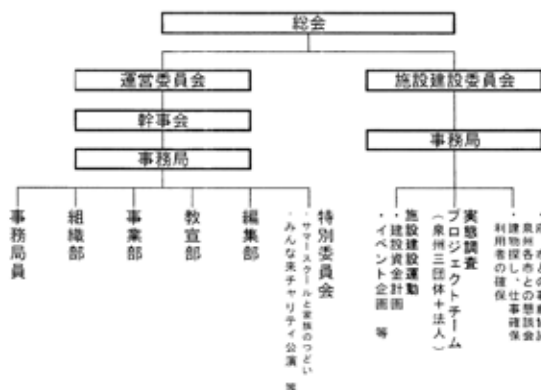
里井武大聴協常任理事から、事務局体制についての説明があり、各担当案が説明され、若干修正意見が出ましたが承認されました。（裏面参照）

そして、当面するこれからの取り組みとして吉見剛二なかまの里施設長から、泉州地区聴覚障害者実態調査の説明がこなわれました。この実態調査は先におこなわれた「介護保険改悪に対する実態調査」と違い、泉州地区に居住するすべての聴覚障害者を対象としたもので、対象者も年齢も幅広く、きちんと調査し

法人組織図



法人後援会組織図



た結果を各市との話し合いの基礎データとしたいとのこと。泉州ブロック三団体を中心に実態調査が進められるので、その話し合いを11月13日におこなうことも報告されました。

この調査について、先の実態調査とどこが違うのかという質問や、調査にあたりきちんと調査が行き渡るよう十分準備をし、内容を出せる調査にしてほしいという意見が出されました。

最後に星野和也大阪手話サークル連絡会会長の挨拶で、「大阪はひとつ」の合い言葉でこれからの奮闘を誓い合い、第1回施設建設委員会は終了しました。

基本構想

1. 北摂地域での聴覚障害者センター“ほくほく”の実現に続いて、泉州地域に聴覚障害者センター（仮称）を実現する。泉州地域の聴覚障害者の日中活動の場と日中の暮らしを支援する場を新しく創る。
 2. 障害者支援施設“なかまの里”の就労部門を地域に移行して、暮らしの場と仕事の場を分離することで、なかまの暮らしを豊かにする。また、職員にとっても就労支援と生活支援を分けることで、職員の専門性とゆとりを発揮できる職場環境をつくる。
 3. 今回、1と2の課題を別々に行くと、資金の面にも、運動の面でも二倍以上の努力が必要となる。1と2の課題を結合して、泉州聴覚障害者センターの実現を図る。
 4. 聴覚障害者協会の事務所を設置し、泉州地域の聴覚障害者運動のセンターとなる。
- また、手話通訳活動や手話サークル活動との共同の場となる。

■泉州聴覚障害者センター（仮称）構想（素案）

実態調査（暮らしの実態や福祉ニーズ等）と懇談会、基本計画検討会を重ねながら、基本計画（案）をまとめていく。

1. 利用者
 - ①福祉的就労や日中活動の場を求めている聴覚障害者 高齢の聴覚障害者、重複障害を持つ聴覚障害者など
 - ②介護保険制度や福祉制度から排除された、福祉・介護サービスが利用できない聴覚障害者（介護度軽度の高齢者、軽度の重複障害者等）
 2. 定員（予定） 60名
 - ①なかまの里から 30名
 - ②やすらぎ（グループホーム）の利用者 10名
 - ③泉州地域の聴覚障害者 20名
 3. 事業と規模
 - ①生活介護事業（重度障害者の日中活動）定員〇〇名
 - ②就労継続支援B型事業（福祉的就労）定員〇〇名
 - * 検討課題
 - ③相談支援事業（支援計画書の作成等）
 - ④地域活動支援センター（市の地域生活支援事業）他
 4. 開所時期 2019年4月1日（予定）
2018年大阪で全国ろうあ者大会
 5. 場所 岸和田市、貝塚市、泉佐野市等の駅近く
(JR線からも南海本線からも利用しやすい所)
 6. 建物 建物を借りる。工場や福祉事業所、店舗、住宅等を改築する。または、土地を安く借りて、建物を建設する。
- *作業室（3.3㎡×60名）、事務室、相談室、協会事務所、トイレ（車いす用含）等

7. 整備資金 法人、大聴協、後援会と募金等（補助金はなし）
 - (1) 改築工事費
 - (2) 備品・設備費（事務机、いす、ロッカー、作業机、作業椅子、パソコン、印刷機、電話、車、給食用品など）
 - (3) 運転資金 報酬の3カ月分
 (参考) 北摂聴覚障害者センター（定員20名） 約2000万円
改築工事費、備品購入費、運転資金、部屋賃料（月額30万円）
8. 中心職員の確保
 - ◆職員の職種と数は、配置基準と施設の収支状況から検討する。
 - 法人（なかまの里）の職員と協会役員（聴覚障害者）で中心職員を配置する
9. 利用者確保
 - ほくほくでは、定員20名の利用者の確保ができていない。
 - 開所の2～3カ月前から、月に1～2回程度、集まりと日中活動の場をつくる。

◆検討課題 北摂聴覚障害者センターほくほくの成果と問題点を見つめて

1. 泉州地域の聴覚障害者の願いやニーズは？
実態調査の実施とまとめ（生活実態と願い、ニーズ）
⇒ 基本計画の作成（規模、事業の種類、資金計画等）
 - (1) 実態調査の内容 北摂地域の実態調査票をたたき台にして作成
 - (2) 実態調査を行う体制づくり 調査方法 調査員、調査場所
 - (3) 実態調査の結果のまとめと分析 ⇒ 基本計画づくり
2. 泉州聴覚障害者センター（仮称）の役割と内容
 - (1) どのようなセンターをめざすか 地域での役割は？
 - (2) 協会事務所の設置 機能、役割と業務内容など
4. 地域にねざした大阪はひとつの施設建設運動をどうすすめるのか
後援会に施設建設委員会を設置して、施設建設を行う。
4月：各地域での3団体の総会 6月：大聴協定期総会
実態調査の結果、泉州聴覚障害者センターの基本計画の発表
建設運動及び募金活動のスタート
5. 施設の運営のあり方
建てるだけでなく、運営・経営の継続と発展が重要ポイント
泉州地域の聴覚障害者、手話関係者と共に歩む施設づくり
なかまの里との連携

施設建設委員会 構成団体（案） () 空白は未定

1) 構成団体

- ① 大 聴 協 : 大竹浩司、長宗政男、磯野孝、
(常任理事9名) 西滝憲彦、今西伸行、里井武、
 栖川興道、小西正、中岡正人
- ② 大 聴 協 : 丘村彰敏、山脇圭二、廣田しずえ、
(各ブロック長5名) 時岡滋樹、中塚智雄
- ③ 大 通 研 (8名) : 3役十各ブロック1名
- ④ 大 サ 連 (8名) : 3役十各ブロック1名
- ⑤ 泉州3団体 (9名) :
- ⑥ 法 人 : 佐藤修、鍋谷孝、犬飼、吉見、
 池田・竹島 (なかまの里)
- ⑦ 後 援 会 : 清田 廣、(中岡正人)、中村
- ⑧ ろうあ会館 :
- ⑨ さとの会 : 玉置、林
- ⑩ 大阪府市町村聴覚障害者福祉担当職員等連絡協議会
- ⑪ ろう学校4校PTA十組合

2) 事務局体制

- ① 施設建設委員長 : 清田 廣
- ② 副 委 員 長 : 大竹浩司、井澤昭夫、星野和也
- ③ 事 務 局 長 : 里井武
- ④ 事 務 局 次 長 : 長宗政男、中村克己
- ⑤ 事 務 局 員 : 今西伸行、中岡正人
- ⑥ 法 人 : 佐藤修、鍋谷孝
- ⑦ ブ ロ ッ ク 長 : 中塚智雄、丘村彰敏、山脇圭二、
 廣田しずえ、時岡滋樹
- ⑧ 泉 州 : 泉聴協 ()、
 泉サ連 ()、
 泉通研 ()
- ⑨ 編 集 部 : 磯野孝、加根田勝、川合花怜、
 泉州 ()
- ⑩ 会 計 : 委員会運営会計 (長宗政男)、
 募金会計 (鍋谷孝)